

令和元年 12 月 1 日

「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業」について

一般社団法人宮城県薬剤師会
会長 山田 卓郎

平素より、本会会務に格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本薬剤師会では昨年度より「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業」を実施しており、本年 9 月 1 日には都道府県薬剤師会の医薬分業担当者及び生涯学習担当者等を対象とした全国会議が開催されました。同会議では、事業の趣旨説明とともに日本薬剤師会が作成した「**薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス**」について説明があり、都道府県薬剤師会の研修計画に当該内容を反映する依頼がありました。

シラバスには、薬剤師業務のさらなる充実、かかりつけ機能の向上に繋がる実践的な研修が全国一律で実施されるよう、研修内容の指標が示されております。

《研修の概要》

目指すアウトカム

地域医療の質向上（健康状態・満足度・経済性の改善）

※赤字は、かかりつけ機能
黒字は、具体的役割の例示

かかりつけ薬剤師・薬局機能の発揮

薬物療法の個別最適化

処方内容チェック
患者の状況に応じた服薬指導
副作用モニタリング・フィードバック
患者の生活像を踏まえた適切な処方医との連携
（服薬設計・処方提案）
多剤投薬の解消

AMR対策

薬物療法の連続性

入退院時の医療機関との連携
在宅医療を含めた継続的薬学的管理指導
終末期における薬学的管理指導

公衆衛生・災害対策

感染対策 災害時対応

健康生活の推進 セルフケア支援

フレイル対策
認知症患者の支援
セルフケアの支援

他職種・他施設との連携

発揮するための資質向上カリキュラム

I. 倫理・社会資源の活用

1. かかりつけ薬剤師の倫理 2. 患者安全 3. 医療・福祉の仕組み 4. カウンセリングスキル 5. エビデンスの創出

II. 医療薬学的知識と技能

1. 薬理学	5. 検査値の把握	9. ハイリスク薬	13. セルフケア支援
2. 製剤学	6. 薬学的観察・評価	10. 生薬・漢方薬	14. 文献評価、医薬品情報の活用
3. 薬物動態学・薬力学	7. 薬物療法の提案と実践	11. 感染対策	15. 統計データの理解と活用
4. 小児、高齢者、妊婦・授乳婦	8. 副作用対策	12. 栄養管理	16. 薬学的知見に基づく記録

III. 疾病特性に基づく薬学的管理・指導の知識と技能

1. 循環器系	4. 泌尿器系	7. 精神・神経系	10. 免疫系
2. 消化器系	5. 生殖器系	8. 皮膚・感覚器系	11. 悪性腫瘍
3. 内分泌系	6. 呼吸器系	9. 骨格・筋肉系	12. 感染症

これを受け当会でも、本シラバスを今後の事業計画へ組み入れ継続した研修を実施することで、到達目標とする知識・技能レベルの共有や次世代指導者の育成、会員の生涯教育機会の増加および職能の向上を図って参ります。

まずは今年度別添のとおり第 1 回目の研修会を実施しますので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

併せて今後も実施される諸研修に対し、当会からの研修案内や情報提供等、ご確認のほどお願い申し上げます。